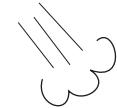


沖縄・名護市辺野古への 米軍基地建設NO！



安倍政権は市民の 審判に従ひなさい!!

県 軍基地建設の是非を最大の争点に行われた1月19日の沖縄・名護市長選挙は、同市辺野古への基地建設に断固反対する稻嶺進市長が、推進派に4155票の大差をつけて再選されました。

世論調査でも、県民の7割以上が辺野古への基地建設反対、仲井真知事不支持です。沖縄県議会は辞職を求める決議を採択しました。

名 護市民と沖縄県民の「基地建設ノー」の民意は明確です。安倍政権はこれに従い、きっぱりと辺野古への基地建設を断念すべきです。

ところが安倍政権は、市長選挙の2日後に、基地建設のためのボーリング調査などを行う業者の募集を始め、4月にも調査を開始しようとしています。民意を完全に無視した、民主主義否定の暴挙です。

政 府は「普天間基地は固定化してはならない」と言っています。しかし、普天間を固定化してきたのは、辺野古への「移設」に固執してきた政府自身です。そもそも普天間基地は国際法に違反し、占領下に米軍が県民の土地を強奪し作られたものです。墜落をくり返す海外侵略のための海兵隊輸送機オスプレイの拠点基地です。こんな基地は無条件撤去するのが当然です。

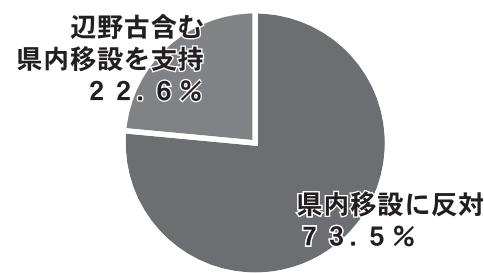
沖縄にもどこにも 基地はいりません



沖 縄では、重大事故が相次いでいます。米軍輸送機オスプレイがエンジントラブル(3月2日)、F15戦闘機の重さ113キロの暴風ガラス落下と緊急着陸(4日)、米軍ヘリの着艦失敗(7日)など、重大事故が相次いでいます。

米軍と住民は共存できません。沖縄からも全国からも米軍基地撤去の声をあげましょう。

沖縄県民は基地建設NO！



琉球新報社・沖縄テレビ放送による沖縄県内世論調査(2013年12月28、29日)より

